

指導方法等の改善計画について〔国語科〕

坂町立小屋浦小学校

全国学力・学習状況調査 本年度正答率

本校	広島県	全国
79%	69%	67.7%

全国学力・学習状況調査 正答率と本年度の結果について

- 平均正答率は79%で、全国平均と比較すると11.3p上回っている。領域ごとに比較すると、『話すこと・聞くこと』において+15.8p、『書くこと』において+8.3p、『読むこと』において+4.9pであり、学力はおおむね定着していると見られる。無回答率は0%だった。
- 昨年度の課題への取組の成果と課題
昨年度は、図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題が見られた。昨年度から、思考力・表現力が高まるような取組を進め、今年度『書くこと』において、県、全国平均より上回ることができた。(本校 76.7%)
引き続き、ひな型をもとに文章を考えさせる、2つ以上の条件に合わせて書く経験を積ませるなどの指導に取り組んでいく。

重点課題

- 目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、伝え合う内容を検討することができるかどうかをみる問題で、何を意図してメモに記号や矢印の書き込みがされているのかが読み取れていない。
[1 (一)] (本校 53.3% 全国 62.5%)
- 人物像を具体的に想像することができるかどうかをみる問題で、別の人物に着目したり、気持ちを表す言葉を理解できなかったりしていた。
[3 二 (2)] (本校 60% 全国 72.5%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法

- 文章や資料を読む時には、様々な情報の中から、大切な言葉に線を引きながら読むなどの習慣をつけるようにする。
- 「話すこと・聞くこと」については、「①話題を決める②材料を分類したり関係付けたりする③内容を検討する」の3点を意識して活動を行う。その際に、活動が目的に合っているものかどうかを、判断の基準とする。
- 「読むこと」について、文学作品では、「①人物像②物語の全体像③表現の効果」などの視点を明らかにして、叙述を読み取る経験を積ませる。
- テストの受け方については、資料と設問のページが離れている場合が多いので、「ページをめくる、折る、戻る、進む」といった手順に慣れるように練習をする。

指導方法等の改善計画について

〔算数科・数学科〕

坂町立小屋浦小学校

全国学力・学習状況調査 本年度正答率

本校	広島県	全国
81%	64%	63.4%

全国学力・学習状況調査 正答率と本年度の結果について

- 平均正答率は81%で、全国平均と比較すると17.6p上回っている。領域ごとに比較すると、『数と計算』において+19.6p、『図形』において+20.4p、『変化と関係』において+12.7p、『データの活用』において+14.9pであり、学力はかなり定着していると見られる。無回答率は0%だった。
- 昨年度の課題への取組の成果と課題
昨年度は、『図形』の問題を読み解くことに難しさが見られたため、平行や垂直、図形の性質などの理解が深まるように繰り返し復習した。今年度『図形』において、県、全国平均より大きく上回ったため（本校86.7%）、成果があったと考えられる。
他の領域においても、「思考力・判断力・表現力」「知識・技能」とともに定着が見られるため、引き続き、授業の中で、数式が何を表しているのかを説明させたり、言葉の式に直したりする機会をつくっていく。また、出題頻度の少ない問題については、授業の始めやはげみの時間を活用して復習する。

重点課題

- 道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる問題で、「道のりが等しいこと」については書けたが、「かかった時間」について書けていない児童が数名いた。
[4 (3)] (本校 53.3% 全国 31.0%)
- 折れ線グラフから必要な数値を読み取り、条件に当てはまることを言葉と数を用いて記述できるかどうかをみる問題で、「違いが最も大きい年代」については書けたが、「回数の違い」について書けていない児童が数名いた。
[5 (3)] (本校 60.0% 全国 44.0%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法

- 授業の中で、算数用語や具体物を使った簡単なクイズを出して、基礎学力や数学的な見方・考え方の定着を図る。
- 「速さ」は、「時間」と「道のり」という2つの数量を組み合わせる単位量当たりの大きさで表すという意味をしっかりとおさえる。「速さ」「道のり」「時間」を求めるだけでなく、式の意味を説明させるようにする。
- 速さを比べる問題では、単位量当たりの大きさの考えをもとに、一方の数量が同じ時には、もう一方の数量を比べるだけで求められることをおさえる。
- グラフの項目や特徴を読み取る練習問題に取り組ませる。また、グラフを使って説明させる機会を増やし、注目させたい箇所に印や色をつけるなど、どこを見たらどんな情報が得られるのかが分かるように工夫させる。
- 1つの問題文の中に2つの問いがある問題に、繰り返し取り組ませる。

指導方法等の改善計画について〔質問紙調査〕

坂町立小屋浦小学校

(1) 生活・学習

児童・生徒の回答についての課題（現状値）

質問番号（20）分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。

（肯定的回答 本校 73.3% 広島県 81.8%）

今後の具体的な取組の内容

- ・学習を深めたい時に、いろいろな選択肢（本、辞書、インタビュー、インターネット、アンケートなど）の中から、自己決定できるような学習習慣を身に付けさせる。
- ・自分で課題を決めて取り組む自主学習を推進し、児童のノートを紹介する掲示コーナーを作る。

(2) 教科

国語 児童・生徒の回答についての課題（現状値）

質問番号（49）国語の授業で、物語を読むときに、登場人物の性格や特徴、物語全体を具体的にイメージし、どのような表現で描かれているのかに着目していますか。

（肯定的回答 本校 86.7% 広島県 84.7%）

授業改善の方向性や具体的な取組

- ・物語の学習では、行動の様子や表情を表す言葉、人物の心の中の言葉、様子を表す言葉などから、人物の心情などを考えさせる。
- ・人物の関係や、心情や関わりの変化を図に表すことで、人物の性格や特徴、物語全体を捉えられるようにする。

算数・数学 児童・生徒の回答についての課題（現状値）

質問番号（56）算数の問題が解けたとき、別の解き方を考えようとしていますか。

（肯定的回答 本校 66.7% 広島県 64.3%）

授業改善の方向性や具体的な取組

- ・自力解決の時には、1つの解き方だけではなく、別の解き方についても考えられるように十分な時間を確保する。また、多様な解き方があることを理解できるように、自分と友だちの考えを比べたり、教科書に載っている解き方の例を読み取ったりする機会をつくる。